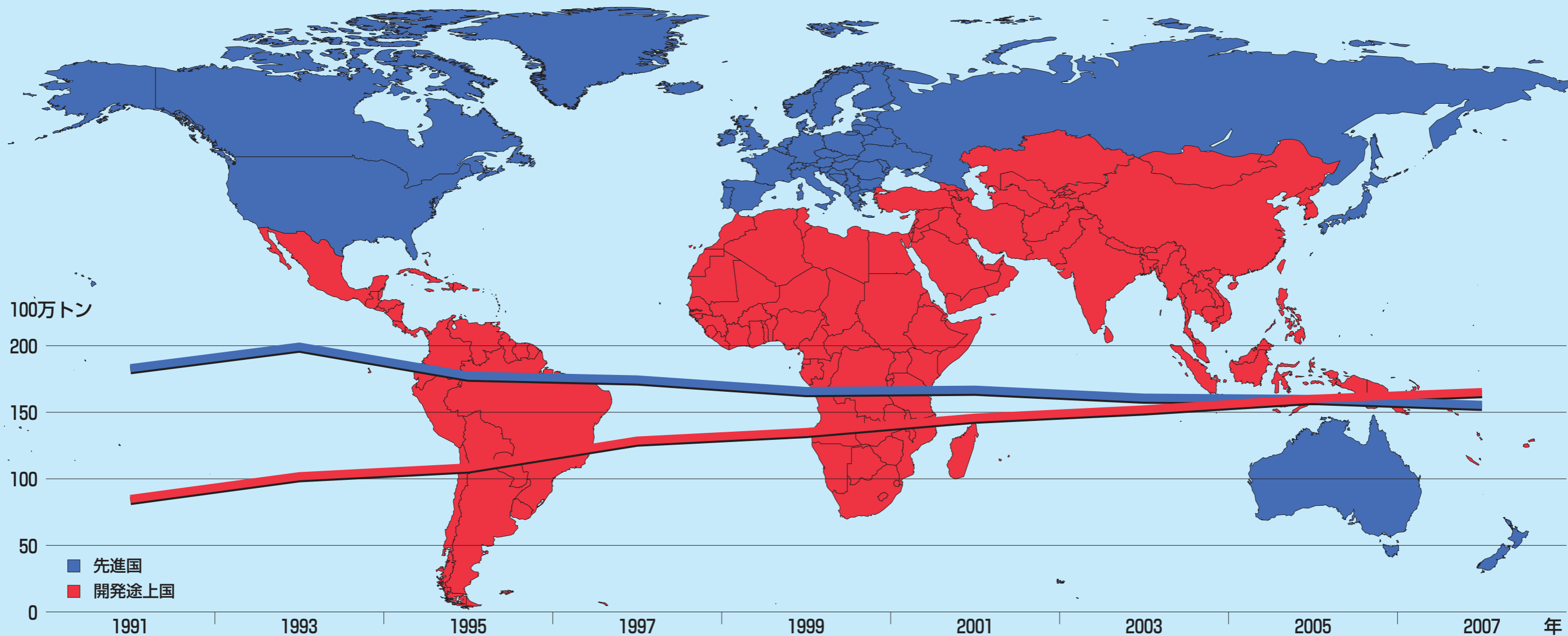


世界のジャガイモ生産量 1991-2007年



ジャガイモは、少ない土地と厳しい気候条件のもとでも、短期間で育つ栄養価の高い食べ物です。もともとアンデス地帯で8000年にわたって食されてきましたが、16世紀にスペイン人によってヨーロッパに持ち込まれて以来、急速に世界中に広まりました。

1990年代の初めまでは、ほとんどのジャガイモがヨーロッパや北アメリカ、旧ソ連で生産・消費されていましたが、その後、開発途上国の生産・消費がめざましく伸び、

現在では、総生産量約3億トンのうち約半分が開発途上国で生産されています。消費量については、総量では人口の多いアジアが、一人当たりの量はヨーロッパがトップですが、アフリカやラテンアメリカでも増加しています。

国連は、ジャガイモが世界の貧困と飢餓に果たす役割に注目し、2008年を「国際イモ年」と定めて、ジャガイモの重要性への関心を高める活動を行っています。

出典：IYPウェブサイト <http://www.potato2008.org>